

自分自身と向き合う時間を作ろう

・・・どんな自分になりたいの？

これは、面接対策や就職対策というよりも、あなたのこれからの人生の根幹をなす、大きな問題です。誤解を恐れずにいえば、「就職」は、あなたの人生における一つのステップにすぎません。けれども、このワンステップがあなたの今後の生活に与えるであろう影響は、間違いなく大きなものです。

働く場所や働き方によって、学ぶ技術や吸収するノウハウはもちろんのこと、周りの環境や雰囲気、そして出会う人々までまったく変わってくるのです。このことから、あなたが大学卒業後にどのような進路（就職先・進学先）を選択するかが、今後のあなたにとってどれほど大切な選択になるか、想像できることと思います。

それなのに、いざ、就職活動開始！という時になってよく耳にするのが、「自分には、したいことがない。」「やりたい仕事もない」「どうしていいかわからない」といった声です。

あせって不安に駆られるあまり、「とにかく、受けたら合格する会社を受けたいのですが」という本末転倒型や、「とりあえずフリーターでいくんで。」などという、無気力逃避型の人がちらほらと発生したりします。

なぜ、「やりたいこと」がないのでしょうか？

それは、その人が自分の将来について、「こんな自分になりたい」という考えを持っていないからです。「なりたい自分」がわかっていなければ、「そのためにはどんな進路（就職）を選択すればよいのか」なんて、わかるはずもありません。

テーマのない問題に答えを出すようなものです。テーマのない問題を解くには、自分でテーマを設定するしかありませんよね？

そして、あなたの人生も同じです。あなたの人生のテーマこそ、誰が決めてくれるものでもありません。あなたが決めるべきものなのです。

自分の人生のテーマ（＝「なりたい自分」）を見つけましょう。

「でも、どうやったら見つけられるかわからない！！！」？
ここにいくつかのヒントを挙げておきます。

1. まずは漠然とでいいから、自分の理想の未来像を描いてみる。
2. 理想の未来像と今の自分を比較して、今の自分が持っているもの（環境・能力）と足りないものを洗い出す。

ここまで整理できると、「なりたい自分になるためには、どうすればいいのか、何をすればいいのか」が見えてくることでしょう。

「いくら考えても、自分の理想の未来像なんて浮かんで来ませんっ！」という方へ。嘆くことはありません。今のあなたに何も浮かんでこないのは、そんなに不思議なことではありません。

まだ学生で、人生経験も少ないあなたの目線から見えている「社会」は、社会全体からすると、それはそれは限られた、小さな世界です。そんななかで「理想の未来像」を考えるには、あまりにも材料が乏しすぎるのです。

ですから、材料を増やす努力をしなければいけません。あなたの視野を、少しでも広げる工夫をしましょう。

まずは、心のアンテナの感度を上げることです。通学途中、何気なく電車の窓から見ている見慣れた景色のなかにさえ、見方を変えれば新たな発見があるものです。そこに、何か目に留まるものを見つけたら、ちょっと踏み込んで考えたり、調べたりしてみましょう。

これが、あなたの視野を広げる第一歩です。

このほか、新聞をじっくり読んでみる（テレビ欄と週刊誌の広告欄だけでなく。）、テレビの社会派番組や経済番組を見てみる、など身の回りにあるものにも、視野をひろげる糸口は転がっています。

これらのことを繰り返していくことによって、あなたの生活と社会とのかかわり、さらには、あなたが大学で学ぶ事柄と社会とのかかわりが、おぼろげながらも見えてくることしょう。

きっと、大学の講義にもおのずと興味がわいてくることと思います。

さあ、今日から材料探しを始めましょう。